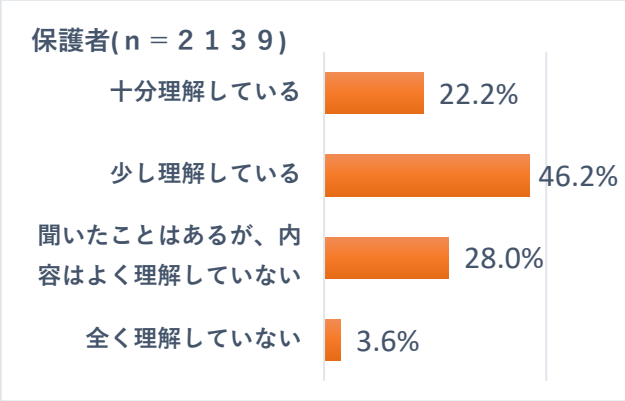
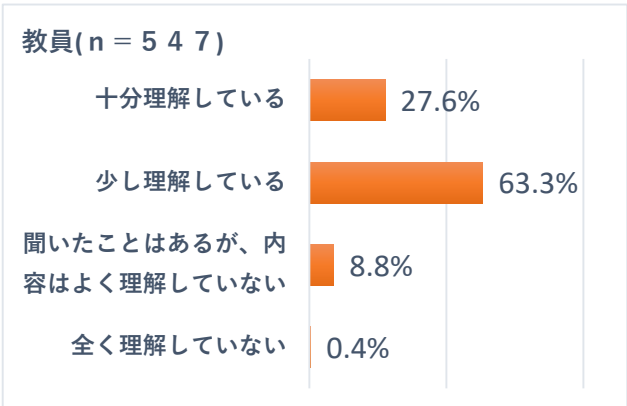
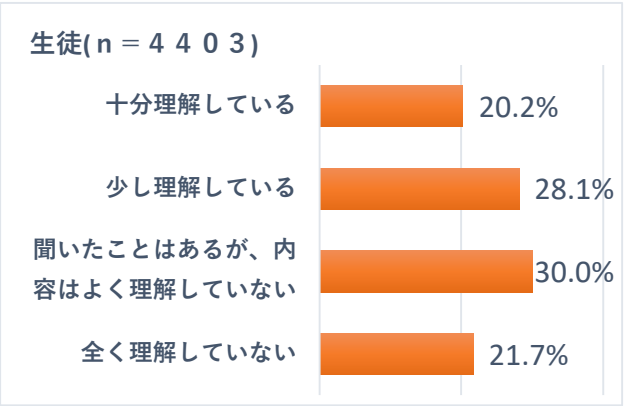


令和6（2024）年度 休日の地域クラブ活動に関するアンケート結果について【概要版】

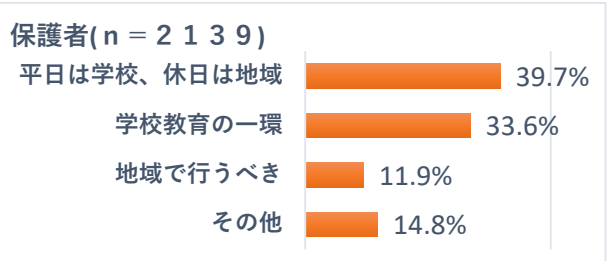
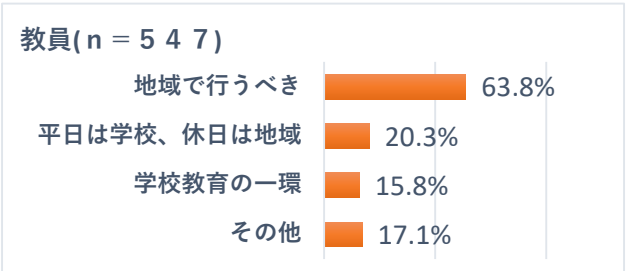
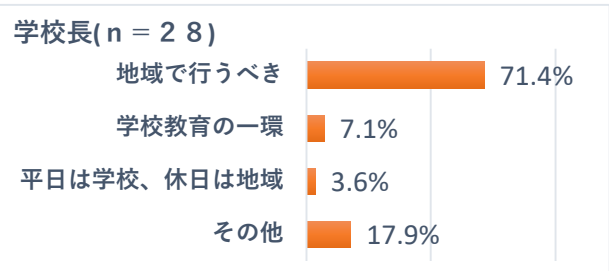
1 部活動の地域移行について、どの程度理解しているか。

生徒の約48%、教員の約91%、保護者の約68%が「十分理解している」、「少し理解している」と回答している。生徒の約52%、教員の約9%、保護者の約32%が「内容はよく理解していない」、「全く理解していない」と回答している。



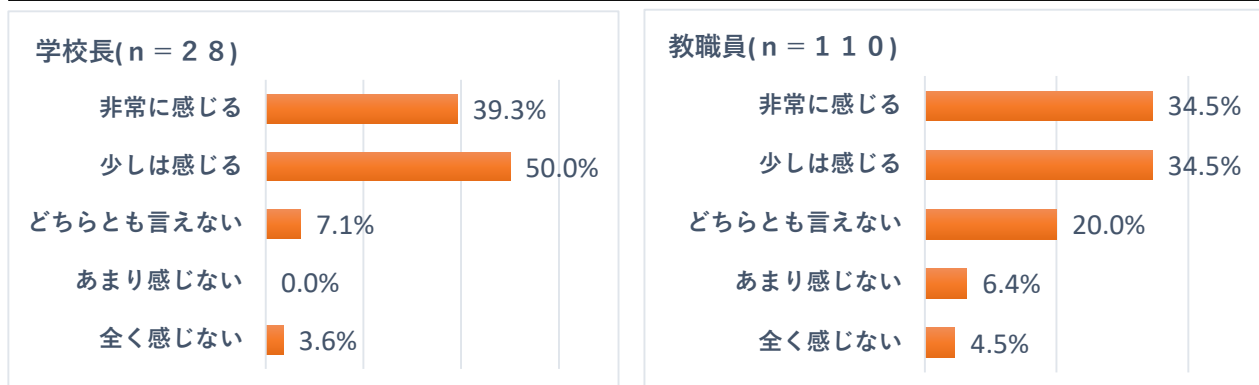
2 部活動は将来どうあるべきか。

部活動を将来的には「地域で行うべき」と校長の約71%は考えており、教員の約64%も同様の回答をしている。一方で、保護者の約34%、教員の約16%、地域クラブ活動指導者の約14%は、「将来も部活動は学校教育の一環として継続すべき」と考えている。



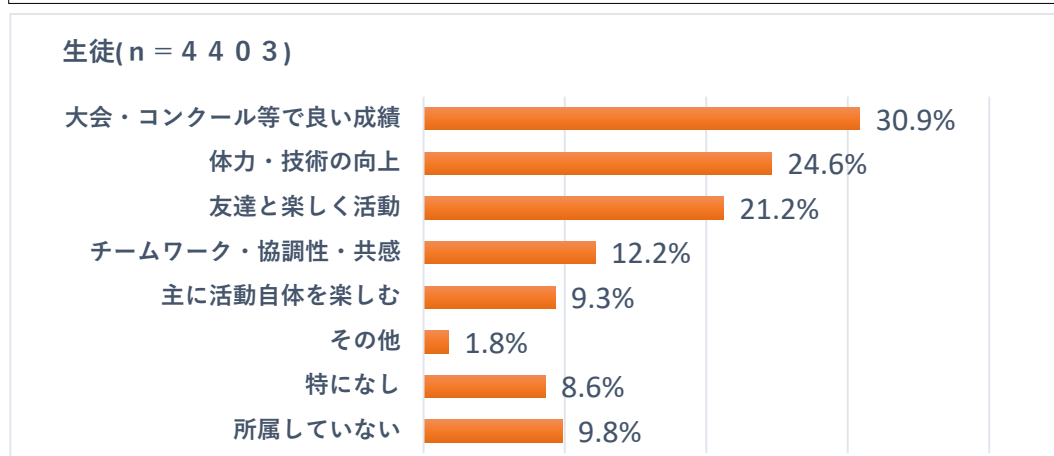
3 休日の地域クラブ活動は教員の負担軽減につながったと感じるか。

校長の約89%及び教員の69%が地域クラブ活動は「教員の負担軽減につながった」と感じている。

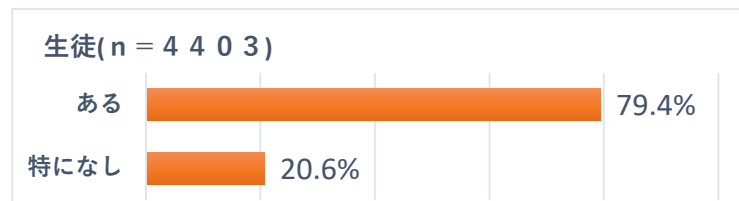


4 部活動に所属している目的はどれに当てはまるか。

生徒が部活動に所属している目的は、「大会やコンクール等で良い成績を収めること」や「体力・技術の向上」、「友達と楽しく活動すること」、「チームワークや協調性を味わうこと」など様々であった。

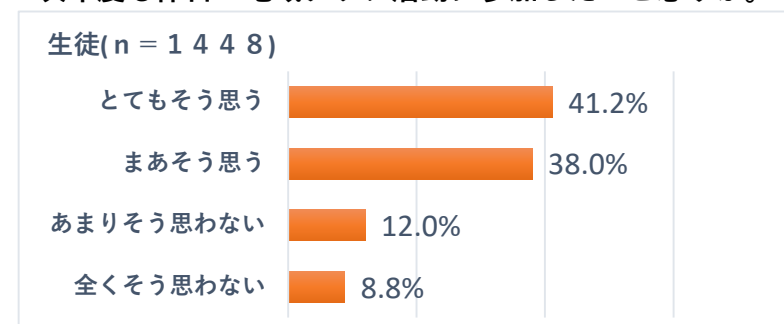


5 学校にある部活動以外でやってみたい種目や活動があるか。



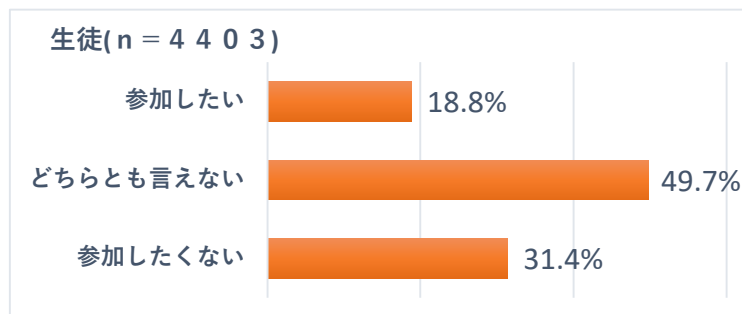
約79%の生徒が学校にある部活動以外でやってみたい活動があると回答している。

6 次年度も休日の地域クラブ活動に参加したいと思うか。



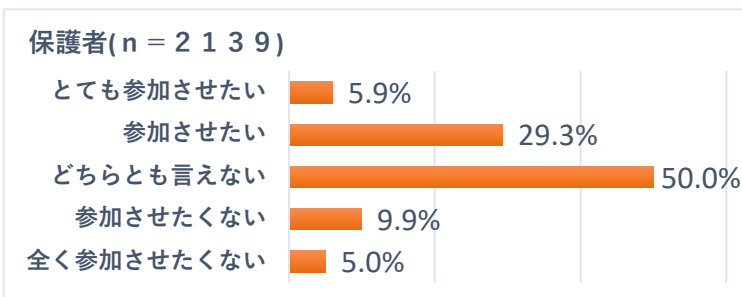
地域クラブ活動に参加した生徒の約79%の生徒が次年度も休日の地域クラブ活動に参加したいと回答している。

7 月謝を支払う場合、休日の地域クラブ活動に参加したいか。



月謝が発生した場合、約半数の生徒は参加を迷っており、生徒の約31%は「参加したくない」と考えている。

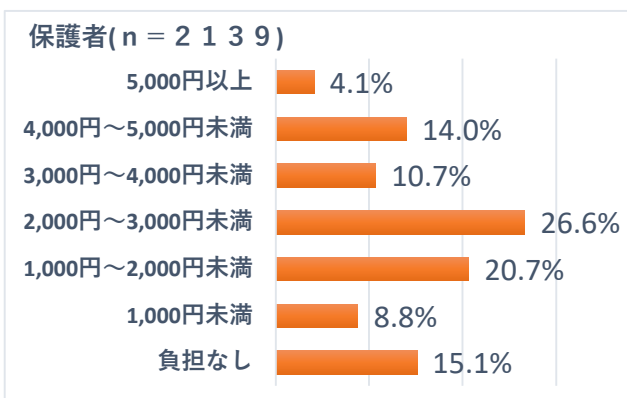
8 地域クラブ活動に参加する際に保護者負担があっても参加させたいか。



保護者の負担がある場合、保護者の約35%が「とても参加させたい」、「参加させたい」と回答している一方で、約15%は「全く参加させたくない」、「参加させたくない」と回答している。

9 休日の部活動が地域へ移行した場合、保護者が負担する妥当額（月謝）はいくらか。

3千円未満が妥当であると回答している割合が高いが、教員の約7%、保護者の約15%、地域クラブ活動指導者の約18%が「負担なし」と回答している。また、教員の約17%は「5千円以上」が妥当としている。



10 地域クラブ活動において、小学生や高校生、高齢者等の多世代と活動することは賛成か。

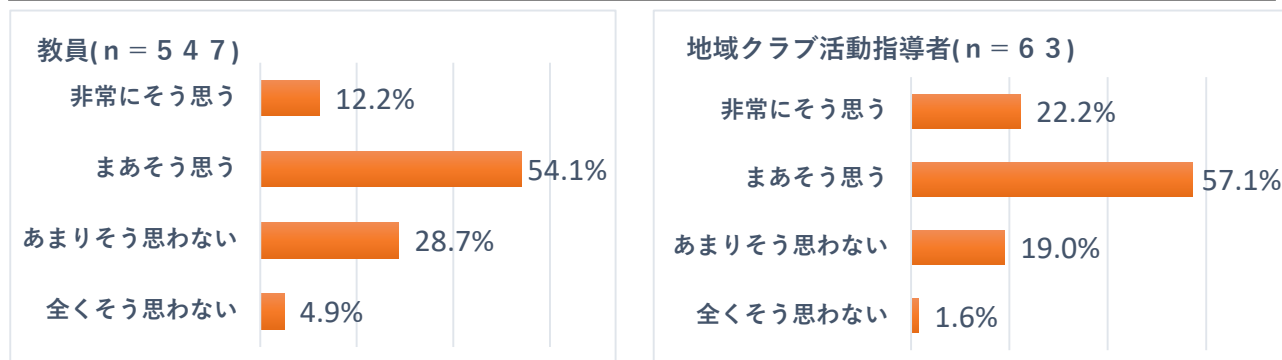
小学生や高校生、高齢者等の多世代と活動することに対して、生徒の約49%、保護者の約64%が賛成と回答している。一方、生徒の約14%、保護者の約6%が反対と回答をしている。



11 技術力の向上を重視し、大会・コンクールでの好成績を目指すべきか。

(休日の地域クラブ活動の在り方について)

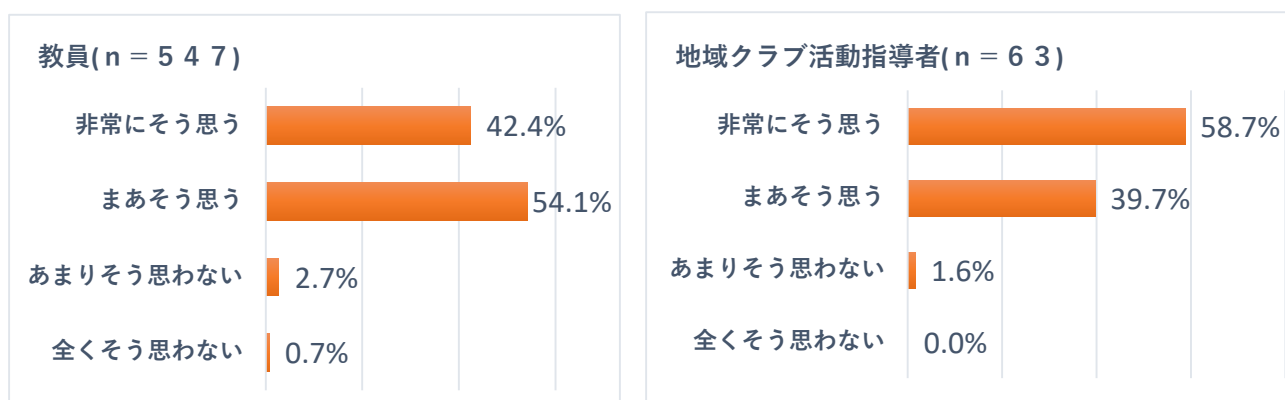
教員の約66%、地域クラブ活動指導者の約79%が「大会・コンクールで好成績を目指すべき」と回答している。一方、教員の34%、地域クラブ活動指導者の約21%が「全くそう思わない」、「あまりそう思わない」と回答している。



12 生涯スポーツのための運動習慣の形成に向けて楽しく活動すべきか。

(休日の地域クラブ活動の在り方について)

教員、地域クラブ活動指導者の多くが「運動習慣の形成に向けて楽しく活動すべき」と回答している。



13 生徒のニーズに合わせた多様な活動ができるようにすべきか。

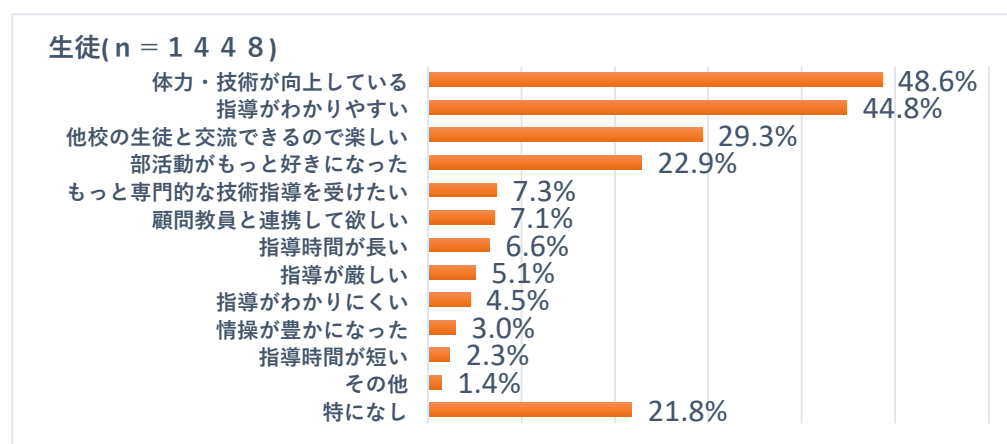
(休日の地域クラブ活動の在り方について)

教員の約91%、地域クラブ活動指導者の約94%が「生徒のニーズに合わせた活動ができるようにすべき」と回答している。



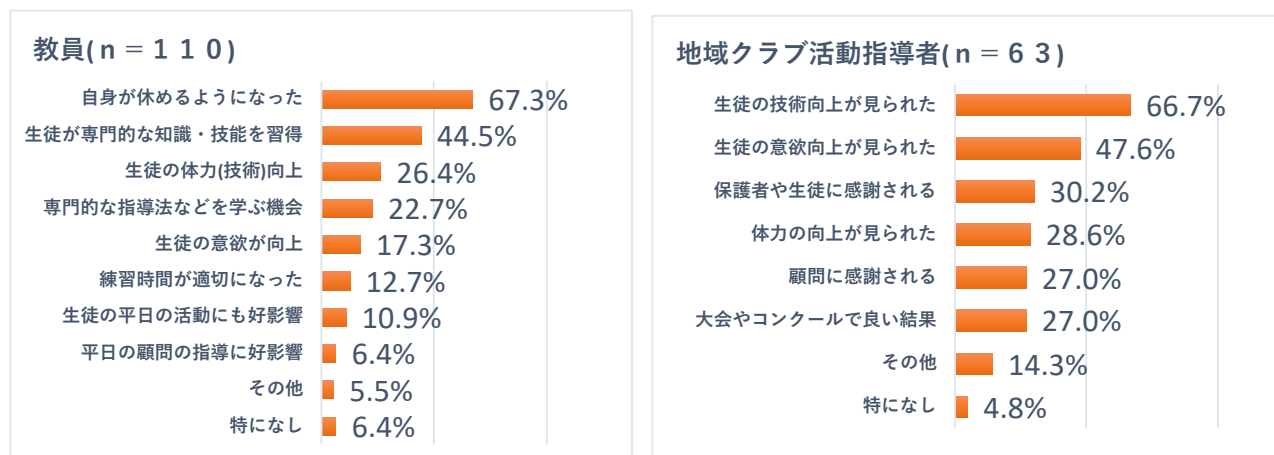
14 地域クラブ活動に参加して、どのように感じているか。

地域クラブ活動に参加して、生徒の約49%が「体力・技術が向上した」、約45%が「指導がわかりやすい」、約29%が「他校の生徒と交流できるので楽しい」と回答している。

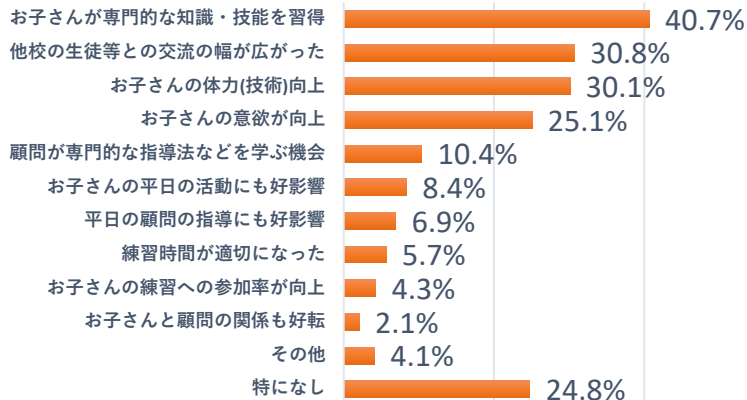


15 休日の地域クラブ活動を実践して、良かったと感じることは何か。

教員は、「自身が休めるようになった」、「生徒が専門的な知識・技能を習得できた」との回答が多く、地域クラブ活動指導者は、「生徒の技術や意欲が向上した」との回答が多かった。保護者は、「お子さんが専門的な知識・技能が習得できた」、「他校の生徒等との交流の幅が広がった」との意見が多かった。



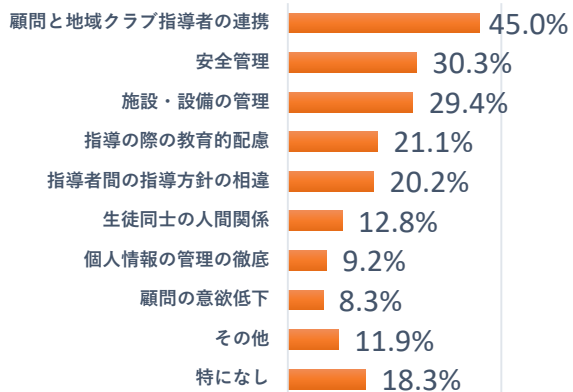
保護者(n = 634)



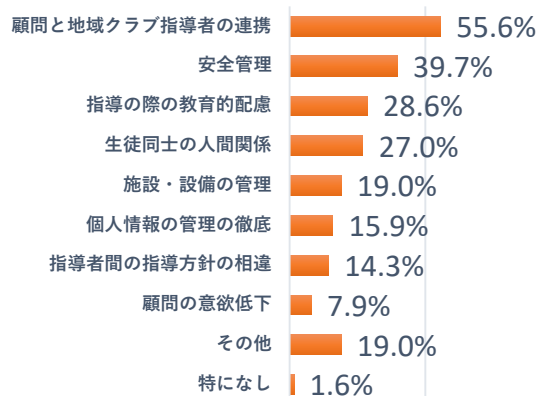
16 休日の地域クラブ活動を実践しての課題は何か。

休日の地域クラブ活動を実践しての課題は、全体では、「指導者間の連携」や「安全管理」が多く挙げられていた。個別にみると教員からは「施設・設備の管理」、「指導の際の教育的配慮」、保護者からは「指導者間の指導方針の相違」が課題として挙げられた。

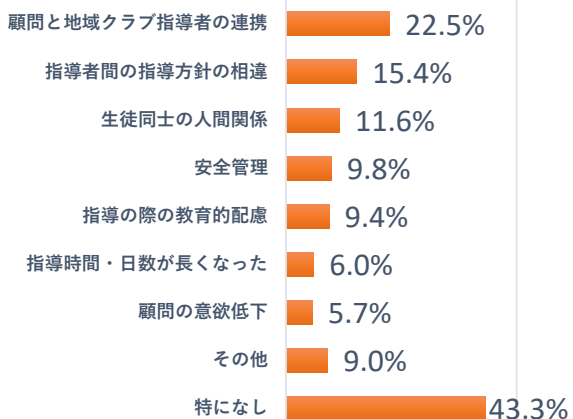
教員(n = 109)



地域クラブ活動指導者(n = 63)

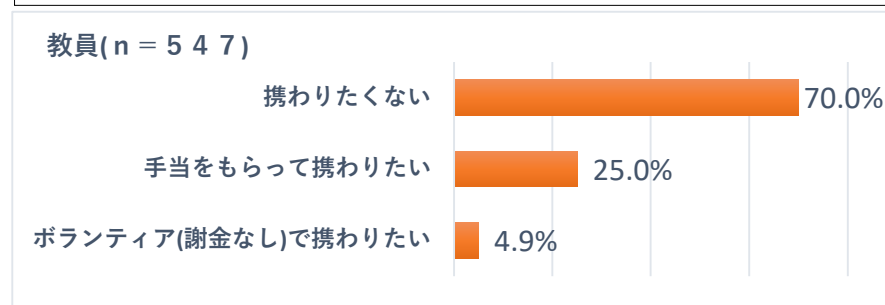


保護者(n = 631)



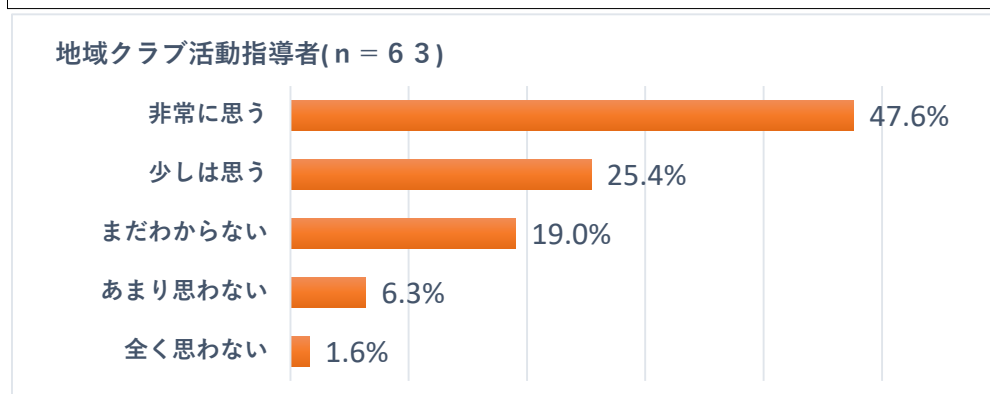
17 休日の部活動が地域に移行した際に指導に携わりたいか。

休日の地域クラブ活動に教員の70%は「携わりたくない」と回答しているが、約30%は「携わりたい」と考えている。



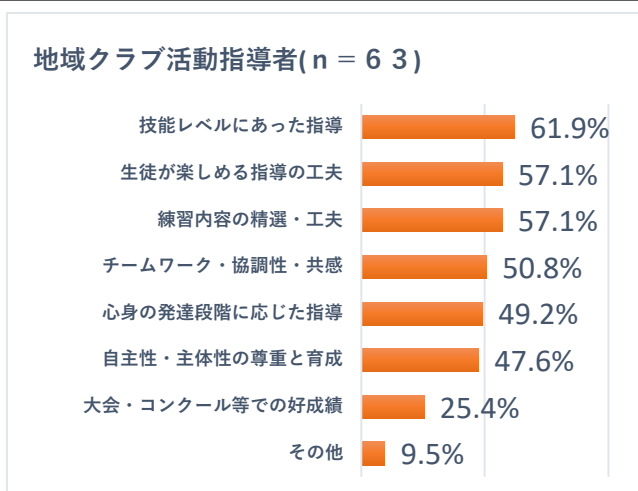
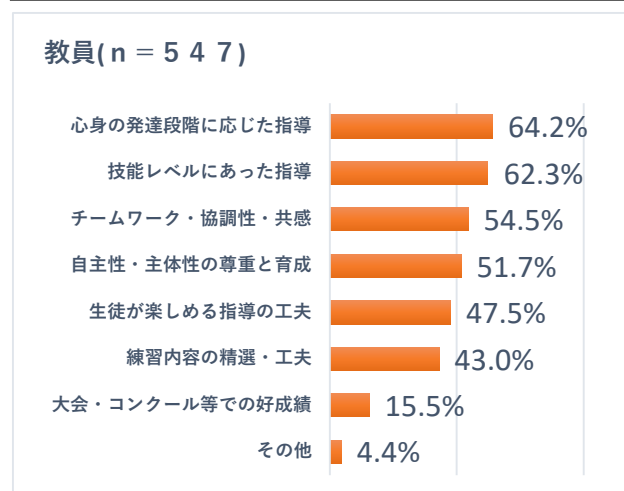
18 次年度も地域クラブ活動指導者として指導に携わりたいか。

次年度の休日の地域クラブ活動に、地域クラブ活動指導者の73%が指導者として携わりたいと考えている。



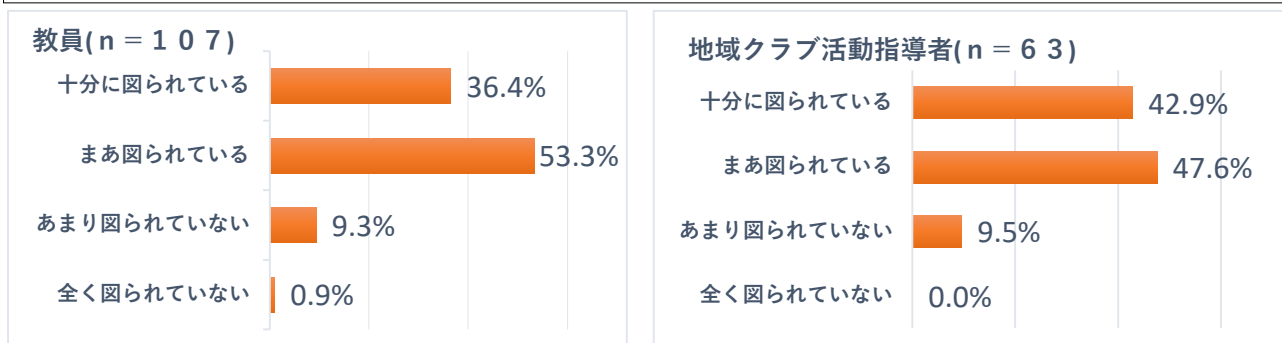
19 休日の地域クラブ活動にあたり、指導者が特に重視するべきと思う点は何か。

休日の地域クラブ活動について、教員は、「発達段階」や「技能レベル」など生徒の実態に応じた指導を重視するべきとの回答が多かった。一方、地域クラブ活動指導者は、「技能レベルにあった指導」や「生徒が楽しめる指導の工夫」、「練習内容の精選・工夫」を重視するべきとの回答が多かった。



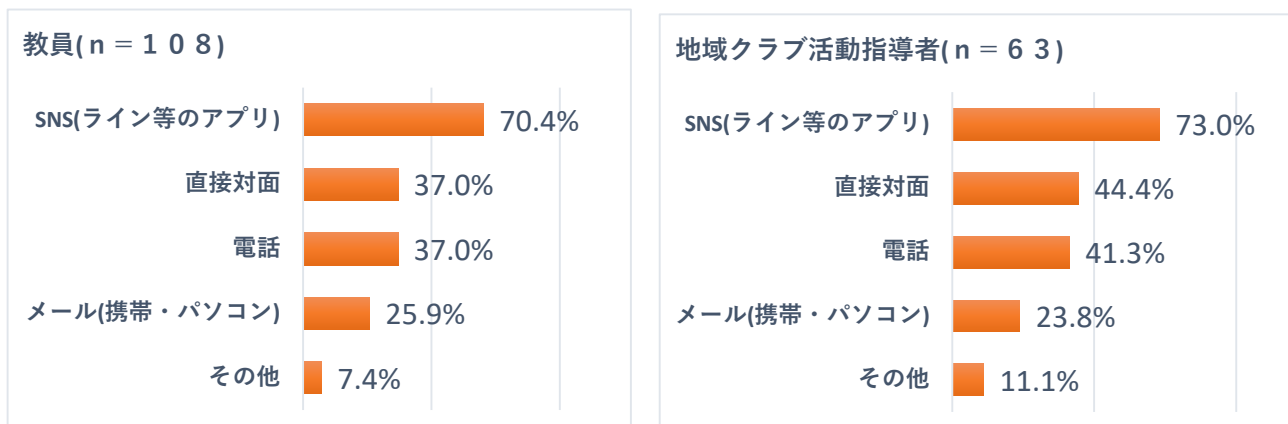
20 顧問と地域クラブ活動指導者との連携は図られているか。

教員の約90%、地域クラブ活動指導者の約91%が「十分に図られている」、「まあ図られている」と回答しているが、教員、地域クラブ活動指導者の約10%が「全く図られていない」、「あまり図られていない」と回答している。



21 顧問と地域クラブ活動指導者との主な連絡手段は何か。

指導者間の連絡手段は、ライン等のSNSアプリ、直接対面、電話が多く活用されていた。



22 顧問と地域クラブ活動指導者との主な連携内容は何か。

指導者間の主な連携内容は、練習計画の作成や生徒の情報の共有に関することであるが、特に連携をしていないとの回答もあった。

